

「特別の教科 道徳」の目標等について	
<p>【「特別の教科 道徳」の目標】</p> <p>○ 中学校学習指導要領第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	
<p>【内容項目】</p> <p>A 主として自分自身に関すること</p> <p>〔自主、自律、自由と責任〕</p> <p>〔節度、節制〕</p> <p>〔向上心、個性の伸長〕</p> <p>〔希望と勇気、克己と強い意志〕</p> <p>〔真理の探究、創造〕</p> <p>B 主として人との関わりに関すること</p> <p>〔思いやり、感謝〕</p> <p>〔礼儀〕</p> <p>〔友情、信頼〕</p> <p>〔相互理解、寛容〕</p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること</p> <p>〔遵法精神、公德心〕</p> <p>〔公正、公平、社会正義〕</p> <p>〔社会参画、公共の精神〕</p> <p>〔勤労〕</p> <p>〔家族愛、家庭生活の充実〕</p> <p>〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕</p> <p>〔郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〕</p> <p>〔我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〕</p> <p>〔国際理解、国際貢献〕</p> <p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p> <p>〔生命の尊さ〕</p> <p>〔自然愛護〕</p> <p>〔感動、畏敬の念〕</p> <p>〔よりよく生きる喜び〕</p>	

- 【学習指導要領の改訂の要点等】
- 道徳科の目標を「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同一であることが分かりやすい表現に改めた。
 - 内容項目のまとまりを示していた視点については、「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」として順序を改めた。
 - 構成やねらいを分かりやすく示して指導の効果を上げるなどの観点から、それぞれの内容項目に手掛かりとなる「自主、自律、自由と責任」などの言葉を付記した。
 - 生徒が自ら道徳性を養うことへの配慮事項を、自らを振り返ること、道徳性を養うことの意義について、自らが考え、理解することなどを加えて具体的に示した。
 - 生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むための言語活動の充実を具体的に示した。
 - 道徳科の特質を生かした指導を行う際の指導方法の工夫例を、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等として示した。
 - 指導上の配慮事項として、情報モラルに加えて社会の持続可能な発展などの現代的な課題の取扱いを例示し、取り上げる際の配慮事項を明記した。
 - 標準授業時数
 - 第1学年ー 35単位時間
 - 第2学年ー 35単位時間
 - 第3学年ー 35単位時間

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳721 道徳821 道徳921	新しい道徳1 新しい道徳2 新しい道徳3
取扱内容 学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 命を形で表すと、どのような形になるかや今までに、命の大切さやありがたさを実感したことには、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめと遊びの違いは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 生命を大切にするために、どのような気持ちが必要かや生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが必要かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友情を育てていく上で、大切にしなければいけないことは何かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 生まれてきた命とは、どのようなものだと思うかや命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、なぜいじめをなくすことは難しいのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然とのつながりを感じるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 自分が関わっていくことができる自然を守る活動には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 郷土のために自分ができることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 自分たちの郷土には、どのような心が息づいているかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、短文投稿サイトに友達の悪口を書くと、どうなってしまいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていく上で大切にしなければいけないことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするために必要なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、「話し合いの手引き」や「つぶやきコーナー」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、教材冒頭の問題提起から解決を図る「考えてみよう」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「アクション」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは8教材、Bは9教材、Cは15教材、Dは9教材、Eは4教材、全体で45教材であり、総ページ数は181ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは11教材、Eは4教材、全体で45教材であり、総ページ数は189ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは7教材、Bは7教材、Cは18教材、Dは9教材、Eは4教材、全体で45教材であり、総ページ数は189ページとなっている。(判型はA B判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、学期ごとに学習の記録を残すことができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道德的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、自分が住む地域について考えるきっかけとなる「郷土のことを考える」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道德の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 2

<div>番号</div> <div>観点</div>	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳722 道徳822 道徳922	輝け 未来 中学校道徳 1 年 輝け 未来 中学校道徳 2 年 輝け 未来 中学校道徳 3 年
<div>取扱内容</div> <div>学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等</div>	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 命について、どのようなことを感じているかや「かけがえない命」という言葉から、どのようなことを連想するかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、本当の友達をつくっていくために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 命を輝かせて生きるために、どのようなことを大切にしたいかや家族や友達、周囲の人たちの命について、どのようなことを感じるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめやけんかをやめさせたり注意したりすることができないのは、なぜかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 生きることの大切さ、生命の大切さとは、どのようなものかや生命のかけがえのなさや尊さを、どのように感じるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、本当の友情を育むためには、どのようなことを大切にしていきたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分が大切に思う自然の姿には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 身の回りの自然に対して、どのようなことを忘れずに思い続けていきたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 今後、自然に対して、どのような関わり方をしていくかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 郷土の伝統や文化を大切にするためにすべきことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 自分が将来に向けて、残していきたいと思う郷土の文化や産業には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 郷土のどのようなことに、どのような思いをもって関わっていきたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ ブログを扱い、「個人の自由」と思えることであっても、どのようなことを考えて判断するとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ インターネットを扱い、相手や自分に誠実であるために、インターネット上のやりとりで、どのような心構えが必要かを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、匿名での書き込みをする際、どのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、様々な見方や考え方を出し合ったり、話し合ったりする「学びに向かうために」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的問題について考えを出し合う教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は224ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は228ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は224ページとなっている。(判型はA B判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「一年間の振り返り」や教材ごとの「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」や「さあ、楽しい夏休み！」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳723 道徳823 道徳923	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ
取 扱 内 容	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 人間として強く生きていくために必要なことは、どのようなことや生きるために大切なことは、どのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、お互いの気持ちや考えを伝え合うとき、どのような心構えが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 精一杯生きるとはどのように生きることかや、命を大切にすることはどのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめや差別のない社会をつくるためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 「命を大切にする」とは、どのようなことや生きていくということは、どのようなことを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見のない社会を築いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 身近な自然を守るためにできることは、どのようなことを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 自分にできる環境保護には、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 地球とともに生きるために、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 郷土の文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 郷土の伝統を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 自分がこれから大切にしたい、守っていきたい郷土のよさは何かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ インターネットを扱い、ルールやマナーが必要なのは、どうしてかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ SNS を扱い、よりよく使っていくことで、どのようなことが得られるかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ スマートフォンや携帯電話を扱い、「歩きスマホ」を規制することは必要かを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、自分の考えを基に話し合う「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは8教材、Bは8教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは4教材、全体で40教材であり、総ページ数は194ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第2学年～ Aは7教材、Bは7教材、Cは17教材、Dは5教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第3学年～ Aは5教材、Bは5教材、Cは17教材、Dは9教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。(判型はB 5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「道德の学びを記録しよう」や、課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ……」を配置し、自らの道德的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、道德の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道德の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	道徳724 道徳824 道徳924	中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき
取扱内容 学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 生きるとは、どのようなことかや人は、なぜ命の尊さを感じるのかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめが起こらない社会をつくるために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 生きていけると感じることは、どのようなときかや命とは、どのようなものかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、周りの人の善意に支えられていると感じるのは、どのようなときかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 命を大切にすることは、どのようなことかや命を大切にするには、どのようにすればよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめをなくすために、自分にはどのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 生き物や自然と共に生きるということは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 美しい自然を守るために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 自然環境を守るために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土の伝統や文化を受け継ぐことのよさとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ 近い将来だけでなく、遠い将来の郷土を大切にするために、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットやSNSを扱い、自分の悪口やうわさ話などを書かれたら、どのようにすればよいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第2学年～ 携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第3学年～ インターネットを扱い、様々な人から発信される情報を見極め、自分の考えや判断に責任をもつために必要なことは何かを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考え、話し合うことを中心に据えた「てびき『学びのテーマ』」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題を解決するための発問「考える観点」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは8教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は224ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第2学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で53教材であり、総ページ数は224ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第3学年～ Aは10教材、Bは7教材、Cは11教材、Dは7教材、Eは20教材、全体で55教材であり、総ページ数は232ページとなっている。(判型はB 5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、教材ごとに記入する「私の気づき」や、シーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、生徒が家庭での話し合いにつなげられるコラムを配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳725、道徳726 道徳825、道徳826 道徳925、道徳926	中学道徳 あすを生きる 1、中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2、中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3、中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート
取扱内容 学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分にとって、生きるとは、どのようなことかや自分が生きているとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、どのようにすれば、いじめをなくすことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 生命を支え合うとは、どのようなことかや生命の重さや尊さとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見が生まれる原因は、どのようなところにあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 尊い命を大切に生きていくためには、何が必要かや命の連続性とは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、自分の気持ちや考えを相手に伝えるためには、どのようにすればよいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自然と人間が共生するためにできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 自然と、どのように関わっていくことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 人間が自然と共生していくために、どのような心構えが必要かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 郷土を愛していくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 郷土の伝統を絶やさないために必要なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 伝統文化を知ることは、どのようなことにつながっていくかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ インターネットを扱い、著作権法などのほかに、自分が尊重したいから守ろうと考えるルールには、どのようなものがあるかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ インターネットを扱い、メール等でのやりとりで、自分の言葉に対する責任をもつためには、どのようなことが大切かを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ スマートフォンを扱い、自分の欲望を抑えるために、どのような努力が必要かを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「学習の進め方」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第2学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。(判型はB 5判)</p> <p>第3学年～ Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。(判型はB 5判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳727 道徳827 道徳927	中学生の道徳 明日への扉 1 年 中学生の道徳 明日への扉 2 年 中学生の道徳 明日への扉 3 年
取扱内容 学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 命の偶然性、連続性、有限性とはどのようなことかや、自分にとって命よりも大切なものがあるとすれば、それはどのようなものかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見のない社会を実現するために、どのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 一人一人の生命のつながりとは、どのようなことかや生命は遠い昔から受け継がれ、次の世代へ渡されていくとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手を尊重するとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 自分に受け継がれたかけがえない命を、どのように輝かせていきたいかや自分の命は、誰のものだろうかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、なぜ、人を差別したり、いじめたりしてしまうことがあるのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自然を守りながら、人間にとって便利な生活を続けていくことは、どのようにすれば可能かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 自然環境の課題に対して、どのようなことに取り組んでいくかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 環境問題を解決するために自分にできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分が紹介したい日本の文化や伝統は、どのようなものかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 日本の文化や伝統を守り、受け継いでいくために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 自分の郷土について、どのような思いを抱いているかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ SNS を扱い、友達とのやりとりでは、どのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ メールやインターネットを扱い、匿名でのコミュニケーションで大切なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、ルールやマナーを守ると、どのようなことにつながるかを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、生徒が考えたことを記述する「鉛筆マーク」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題解決的な学習の道筋を紹介する「深めよう」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは8教材、Bは7教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は180ページとなっている。(判型はA4判)</p> <p>第2学年～ Aは8教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは8教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は184ページとなっている。(判型はA4判)</p> <p>第3学年～ Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは6教材、全体で41教材であり、総ページ数は184ページとなっている。(判型はA4判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、成長を振り返り、課題や目標を見つける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置し、自らの道德的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道德の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	232・廣あかつき	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳728、道徳729 道徳828、道徳829 道徳928、道徳929	中学生の道徳 自分を見つめる1、中学生の道徳ノート 自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を考える2、中学生の道徳ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分をのびる3、中学生の道徳ノート 自分をのびる3
取 扱 内 容	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 生命とはどのようなものかや、この世に生を受けたことや今生きていることについて、どのように感じるかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめのない愛のある学級にするために、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 自分自身の生命をどのように燃やし、輝かせたいかや生命の尊厳とは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、もし、いじめに気が付いたら、自分はどのようにするかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 生命の尊さやかけがえのなさについて、どのように考えるかや誰かのために生きるとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめをなくすために、どのような自分でありたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自然環境を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ これから自分たち人間は、自然とどのように関わっていけばよいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 自分たち人間にとって、自然とは、どのようなものかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ これから、どのように郷土やそこに住む人々と関わっていきたいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 郷土の発展のために、自分にできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ インターネットを扱い、利用する場合には、自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないのは、なぜかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ SNS を扱い、情報機器に振り回されないためには、どのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、その利用に際して、どのような責任が伴うかを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは8教材、Bは8教材、Cは14教材、Dは8教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め238ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは10教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め222ページとなっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは10教材、Bは7教材、Cは13教材、Dは8教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め218ページとなっている。(判型はA B判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道德的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、家庭や地域の人との関わりを促す教材や、別冊に、家族との交流を促す記述欄を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道德の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	233・日科	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳730 道徳830 道徳930	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する
取扱内容 学習指導要領の総則及び「特別の教科道徳」の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について感じたことは、どのようなことかや自分の生命、他の人の生命について感じたことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめを改善するために、どのような方法があるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 生命とは、どのようなものかや生命の尊さを守るためには、どのように考えていけばよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、大切なことを見失わないようにするためには、友人とどのように付き合っていくことが大切かを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 命とは、どのようなものかや生命の尊さを守るためには、どのように考えていけばよいかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達とよい関係を築くためには、どのようにしたらよいかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 環境の保全のためにできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 地球の未来のためにできることは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 自分がこれまで出会った自然の美には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 家族や地域の方の郷土への思いは、どのようなものかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ 地域の伝統行事には、どのような意味があるのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ 身の回りのもので、長く受け継がれてきた日本人の技や知恵には、どのようなものがあるかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ スマートフォンを扱い、インターネット上では、どのようなコミュニケーションが望ましいかを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 2 学年～ インターネットを扱い、コミュニケーションをとる上で、どのような配慮が必要かを話し合う活動を取り上げている。</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、コミュニケーションをとるときに大切なことは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などをはぐくむことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、「考え、話し合ってみよう　そして、深めよう」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道德的行為に関する体験的な学習を用いた教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道德的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」を表す。</p> <p>第1学年～　Aは6教材、Bは8教材、Cは17教材、Dは6教材、Eは15教材、全体で52教材であり、総ページ数は192ページとなっている。（判型はB 5判）</p> <p>第2学年～　Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で54教材であり、総ページ数は192ページとなっている。（判型はB 5判）</p> <p>第3学年～　Aは7教材、Bは7教材、Cは15教材、Dは8教材、Eは13教材、全体で50教材であり、総ページ数は192ページとなっている。（判型はB 5判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らを振り返るための工夫については、各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道德的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○ 家庭や地域との連携を深めるための工夫については、各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道德の学習の進め方を示すページを設けている。 ・全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されている。
<p>その他</p>	

様式 3

◎調査項目

- ① 各学年の内容項目ごとの教材数とページ数
- ② 「私たちの道徳」と共通の教材数とページ数
- ③ 自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を示しているページ数
- ④ 問題解決的・体験的な学習活動を示しているページ数
- ⑤ いじめの問題に関する教材のページ数
- ⑥ 情報モラルに関する教材のページ数
- ⑦ 社会の持続可能な発展などの現代的な課題に関する教材のページ数
- ⑧ 伝統や文化に関する内容を取り上げた教材のページ数
- ⑨ 家庭や地域と連携して活用することを促している教材のページ数
- ⑩ 北海道の地域素材を掲載している箇所数

◎調査項目にした理由

- ① 道徳科の指導に当たっては、学年段階を通して、全部の内容項目が調和的に関わり合いながら、生徒の道徳性が養われるよう工夫することが求められていることから、内容項目ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 生徒の発達の段階や特性、地域の事情等を考慮し、多様な教材の活用が求められていることから、文部科学省が作成した教材「私たちの道徳」と共通の教材数について、内容項目ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ③ 生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、言語活動の充実が求められていることから、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの活動の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ④ 生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して指導方法を工夫することが求められていることから、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑤ 現実の困難な問題に主体的に対処することのできる実効性ある力を育成することが求められていることから、いじめの問題への対応に関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑥ 社会の情報化が進展する中、情報社会の倫理、法の理解の遵守などが求められていることから、情報モラルに関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑦ 発達の段階に応じて、身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てることが求められていることから、社会の持続可能な発展などの現代的な課題に関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑧ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが求められていることから、伝統と文化に関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑨ 道徳科の授業を公開したり、授業の実施などに家庭や地域の人々等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ることが求められていることから、家庭や地域と連携して活用することを促している教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑩ 生徒にとって身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができる地域教材の開発や活用が求められていることから、北海道に関わる地域素材の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

調査項目				発行者	東書			学図			教出			光村		
					1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	各学年の内容項目ごとの教材数とページ数	A 主として自分自身に関すること	教材数	8	7	7	7	7	7	8	7	5	8	9	10	
			ページ数	34	28	33	40	42	44	41	31	20	43	45	48	
		B 主として人との関わりに関すること	教材数	9	8	7	6	6	6	8	7	5	9	9	7	
			ページ数	30	35	32	32	34	32	38	33	28	45	44	37	
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	教材数	15	15	18	16	16	16	13	17	17	12	12	11	
			ページ数	62	71	75	100	98	100	65	86	86	61	65	64	
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	教材数	9	11	9	6	6	6	7	5	9	7	7	7	
			ページ数	40	43	36	36	38	32	41	21	37	38	35	35	
		E 複数の内容項目が含まれている教材等	教材数	4	4	4	8	8	8	4	3	3	17	16	20	
			ページ数	15	12	13	16	16	16	9	7	7	37	35	47	
総ページ数				181	189	189	224	228	224	194	178	178	224	224	232	
②		「私たちの道徳」と共通の教材数とページ数	A 主として自分自身に関すること	教材数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	ページ数			0	0	0	0	6	5	0	0	0	0	0	0	
	B 主として人との関わりに関すること		教材数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
			ページ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	
	C 主として集団や社会との関わりに関すること		教材数	0	0	1	1	1	1	0	1	3	0	0	2	
			ページ数	0	0	5	5	7	7	0	8	18	0	0	13	
	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること		教材数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
			ページ数	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
	E 複数の内容項目が含まれている教材等		教材数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ページ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
③	自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を示しているページ数(※1)			32	37	38	35	35	35	39	37	36	39	42	43	
④	問題解決的な学習活動を示しているページ数(※2)			163	170	170	4	10	8	30	32	34	36	37	43	
	体験的な学習活動を示しているページ数(※3)			12	12	12	6	6	4	10	10	4	3	3	3	
⑤	いじめの問題に関する教材のページ数(※4)			46	38	30	18	22	12	52	39	33	31	42	41	
⑥	情報モラルに関する教材のページ数(※5)			4	4	16	6	6	18	8	10	2	11	12	8	
⑦	社会の持続可能な発展などの現代的な課題に関する教材のページ数(※6)			131	114	116	80	96	88	75	112	80	145	134	148	
⑧	伝統や文化に関する内容を取り上げた教材のページ数(※7)			28	27	14	26	24	24	33	38	34	25	22	43	
⑨	家庭や地域と連携して活用することを促している教材のページ数(※8)			49	74	49	36	36	32	52	40	40	9	10	13	
⑩	北海道の地域素材を掲載している箇所数			2	1	5	1	0	2	2	3	5	3	4	4	

※次に示す発行者は本冊と別冊の二分冊で構成されている。

日文、廣あかつき

※調査項目の数字は、別記にデータを掲載している。

(※1)～(※8)で示す調査項目については、対象としている内容を各別記の冒頭に記載している。

様式 4

調査項目				発行者	日文			学研			廣あかつき			日科		
					1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	各学年の内容 項目ごとの教 材数とページ 数	A 主として自分自身に関すること	教材数	7	7	7	8	8	8	8	8	10	6	7	7	
			ページ数	35	30	27	36	42	38	38	34	36	28	28	34	
		B 主として人との関わりに関すること	教材数	6	6	6	7	7	8	8	8	7	8	8	7	
			ページ数	32	28	28	32	31	38	35	32	26	33	36	32	
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	教材数	15	16	15	13	12	12	14	12	13	17	15	15	
			ページ数	64	68	76	65	62	62	57	52	58	78	67	66	
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	教材数	7	7	7	7	8	7	8	10	8	6	7	8	
			ページ数	31	36	33	36	38	34	40	36	30	25	32	38	
		E 複数の内容項目が含まれている教材等	教材数	16	17	16	5	5	6	3	3	3	15	17	13	
			ページ数	69	69	67	11	11	12	68	68	68	28	29	22	
総ページ数				231	231	231	180	184	184	238	222	218	192	192	192	
②		「私たちの道徳」と共通の 教材数とペー ジ数	A 主として自分自身に関すること	教材数	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
	ページ数			0	4	0	4	0	0	5	0	0	0	5	0	
	B 主として人との関わりに関すること		教材数	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	
			ページ数	0	0	4	0	4	0	5	0	0	0	5	6	
	C 主として集団や社会との関わりに関すること		教材数	0	1	3	0	0	3	0	1	3	0	1	2	
			ページ数	0	5	21	0	0	20	0	6	15	0	6	13	
	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること		教材数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	
			ページ数	0	0	0	0	0	6	0	0	5	0	6	6	
	E 複数の内容項目が含まれている教材等		教材数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			ページ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
③	自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を示しているページ数(※1)			74	72	82	15	5	10	90	89	93	36	37	37	
④	問題解決的な学習活動を示しているページ数(※2)			22	20	32	12	12	20	69	37	52	36	37	37	
	体験的な学習活動を示しているページ数(※3)			12	12	10	4	4	6	39	39	22	0	0	2	
⑤	いじめの問題に関する教材のページ数(※4)			40	28	36	21	30	34	27	44	48	19	12	18	
⑥	情報モラルに関する教材のページ数(※5)			12	14	8	12	5	8	12	7	6	6	10	4	
⑦	社会の持続可能な発展などの現代的な課題に関する教材のページ数(※6)			105	127	134	129	105	110	69	90	75	35	72	45	
⑧	伝統や文化に関する内容を取り上げた教材のページ数(※7)			30	35	55	9	17	10	9	11	13	15	31	19	
⑨	家庭や地域と連携して活用することを促している教材のページ数(※8)			3	3	3	4	6	26	9	8	4	3	3	3	
⑩	北海道の地域素材を掲載している箇所数			2	2	0	1	5	2	1	2	2	0	3	0	

※次に示す発行者は本冊と別冊の二分冊で構成されている。

日文、廣あかつき

※調査項目の数字は、別記にデータを掲載している。

(※1)～(※8)で示す調査項目については、対象としている内容を各別記の冒頭に記載している。